音楽の集「ナスカ」演奏会

～酒井良一音楽生活 50 年を記念して～

Messe in h-moll BWV232

ヨハン セバスチャン バッハ　ミサ曲 ロ短調

Johann Sebastian Bach

文京シビックホール

Bunkyo Civic Hall

主催　音楽の集「ナスカ」

2023 年 6 月10 日（土）

響きの森文京公会堂
「文京シビックホール 大ホール」

開場 12:30　開演 13:30

全席自由￥4,000

音楽の集 ナスカ

◆アクセス◆

東京メトロ後楽園駅
丸ノ内線（4a・5 番出口）
南北線（5 番出口）徒歩 1 分
都営地下鉄春日駅
三田線・大江戸線　徒歩 1 分
JR 総武線水道橋駅（東口）徒歩 9 分

チケットご予約・お問い合せ　ナスカ事務局　TEL：070-4817-2498

出演者・曲目紹介

＜指揮＞　酒井良一

1952 年兵庫県生まれ。東京藝術大学音楽学部卒業。1980 年東京室内歌劇場公演、間宮芳生「人買太郎兵衛」でデビュー。1981 年築地本願寺本堂にて柴田南雄「念仏踊り」、1982 年東京カテドラル・マリア大聖堂にてヘンデル「メサイア」、2011 年千代田女学園講堂にて清水脩「歎異抄」を、それぞれ指揮。築地本願寺で約 40 年にわたり佛教讃歌の指導に当たるとともに、1983 年音楽集団「ホツマ」結成以来、関東近県で約 5 の合唱団とともに音楽活動を続けている。仏教伝道協会音楽普及委員、佛教讃歌の集「樂友会」指揮者。また、音楽の集「ナスカ」を指揮し、1986 年以来、バッハ「マタイ受難曲」、モーツァルト「レクイエム」、ヘンデル「メサイア」、メンデルスゾーン「エリア」、ジョン・ラター「レクイエム」、フォーレ「レクイエム」等の大曲を演奏、2018 年には、カール・オルフ「カルミナ・ブラーナ」を 2 回にわたって公演し、好評を博した。

＜ソプラノ＞　山中さゆり

東京藝術大学声楽科卒業。同大学院修士課程独唱専攻修了。イタリアに渡り研鑽を積む。オペラやコンサートに多数出演し、好評を得る。第 55 回日伊声楽コンコルソ第 2 位及び歌曲賞受賞。ほか、コンクール受賞歴多数。現在、新国立劇場オペラ合唱団所属。日本だけでなく、韓国でもソリストとして活動中。

＜アルト＞　小川明子

東京藝術大学大学院修了。文化庁オペラ研修所第 10 期修了。第 61 回日本音楽コンクール声楽部門第 2 位、第 4 回日本歌曲コンクール第 1 位。1997 年文化庁派遣芸術家在外研修員としてウィーンへ留学。数少ない本格的アルトとして各方面に活躍中。近年は日本歌曲にも力を注ぎ、9 組の CD をリリースしている。

＜テノール＞　鏡貴之

岩手大学教育学部卒業。東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程修了。主にオラトリオ、宗教曲のソリストとして活動中。2012 年第 4 回東京国際声楽コンクール第 1 位、並びに審査員特別賞、東京新聞賞受賞。バッハ・コレギウム・ジャパン、エクス・ノーヴォ、各メンバー。桐朋学園芸術短期大学演奏助手。

＜バス＞　浦野智行

東京藝術大学別科ホルン専修後、声楽に転向。同大学声楽科卒、大学院オペラ科修了。日本音楽コンクール、日本モーツァルト音楽コンクール他に入賞、入選。歌曲、オラトリオの分野で活躍し、受難曲のイエス役、ロシア歌曲等で高い評価を得る。バッハ・コレギウム・ジャパンのメンバーとして国内外の数々の演奏会、録音に参加している。

＜ヴァイオリン＞　塗矢真弥

英国 LRSM 演奏家ディプロマ。ヴァイオリンを、広瀬八朗、海野義雄、ティボール・ヴァルガ、室内楽を、青木十良の各氏に師事。ソロ、室内楽、オーケストラの各分野で活動している。アンサンブル☆ステラ、東京ベートーヴェン・カルテット第一ヴァイオリン奏者。

＜オーボエ＞　広田智之

国立音大在学中に日本フィルハーモニー交響楽団に首席奏者として入団。その後、同団ソロ首席、東京シティフィルのトレーニングエグゼクティブ等を歴任。現在、東京都交響楽団首席オーボエ奏者、トリトン晴れオケ、紀尾井ホール室内管弦楽団で首席奏者を務める。桐朋学園大学及び上野学園大学特任教授。日本音楽コンクール、日本管打楽器コンクール審査員。

J.S.バッハ／ロ短調ミサ曲　BWV232（1724-1749）

大バッハ（1685-1750）最晩年の編纂による、彼の最高傑作。一時期の作曲ではなく、また、息子エマヌエルが父の死後多くの修正を加える等、成立については未だ謎も多い。曲は、ミサ通常文を踏襲しつつも、変則的大規模な 4 部構成でバロック音楽の極致を示し、圧倒的な生命力で今なお私たちを魅了し続けている。

＜管弦楽＞＜合唱＞　音楽の集「ナスカ」

音楽の集「ナスカ」は、酒井良一を指揮者とする各団の合同演奏会の際の団体名。1986 年の初演奏以来、ヘンデル、バッハ等の大曲にも挑み続け、好評を博している。「ナスカ」は、有名な南米ナスカの、人智を超えた地上絵にちなんで命名された。